

著：瀬寄 智之

Dr. セザキ直伝！

## 最強の医学英語学習メソッド [Web 動画付]

書評者：山本 健人(京都大学大学院消化管外科学)

『Dr. セザキ直伝！ 最強の医学英語学習メソッド [Web 動画付]』は、USMLE コンサルタントである「セザキ」こと瀬寄智之医師が書き下ろした医学英語学習の教科書である。瀬寄氏は学生時代に USMLE の STEP 1 に最高スコアで合格し、その後も最難関とされる STEP 2 CS を含め全 STEP に一発合格。現在は USMLE に特化したオンラインサロンを主宰し、指導した人数は 1,000 人を超える。

さて、ここまで読んだ方は、まさに才能あふれる超人的な男の遍歴を聞いた気になるかもしれない。だが実は「そうではない」ところが本書の最大の特徴であり、傑出した点である。まず、瀬寄氏が「トラウマレベル」と語るほど英語が苦手だった過去を披露するところから本書は始まる。むしろ、優秀な人物はすべからず謙遜が得意だ。ところが、彼の語る英語遍歴は確かに、想像以上である。高校 3 年生時の英語の偏差値は 30 台、現役時代のセンター英語は 58% と 6 割を下回っており、二次試験にわざわざ英語の“ない”医学部を選んだ、という有様なのである。

つまり本書に貫かれているのは、「英語を得意としない人が、米国で日常臨床を行えるレベルの英語力に到達するまでに一体どのような策を講じるべきか」を徹底的に追求する姿勢である。

優秀な業績を持つ人に高みに至るまでのコツを問うても、凡人には容易に真似できない回答が返ってきて思わず頭を抱える、というのはよくあることだ。しかし瀬寄氏はむしろ「凡人がどのような努力をすべきか」というノウハウを極めて具体的に語るのである。

また、こうした観点から英語学習指南のアプローチも新しく、上記の英語遍歴に引き続き「日本語学習の重要性」が語られるのもユニークである。私も過去に 6 年間、塾講師として大学受験生に英語を教えた経験があるが、瀬寄氏と同様に「日本語ができない人は英語もできない」という感覚を持っている。だが彼はこのことを非常にユニークな手法で解説しており、これには誰もが度肝を抜かれるであろうと思う。ネタバレになるのであえてここでは書かないが、ぜひ本書を手に取り、内容を確認していただきたい。むしろ、この軽妙な語り口が説得力を持っ

て読者の心をつかむのは、他でもない瀬寄氏の「日本語力」の高さ故である。

また、当然ながら本書は USMLE 受験を想定した英語学習のための教科書と銘打っている以上、具体的な学習ノウハウに全体の約半分以上を費やしている。TOEFL の受験テクニックから、USMLE の STEP ごとの具体的な対策まで、非常に明快に、かつ具体的に解説される。

だがここでも「英語が得意でない人が難関の前に“どう立ち回るか”」というコンセプトが貫かれている点は秀抜だ。

私が瀬寄氏に初めて会った時、彼が話したことが印象に残っている。「僕は本を出版することを目標に掲げ、その目標に向けて学生時代から手を打ってきました。だから計画通りです」。本書は、目標に向けて綿密な計画を立て、一つひとつ歩を進めてきた彼のノウハウを余すことなく知ることができる、貴重な一冊なのである。

● A5 頁 264 2020 年 4 月  
定価：本体 3,400 円＋税  
[ISBN978-4-260-04174-4]  
医学書院刊